



# 市政に挑戦！次代の西宮へ。 たかの しん

28才

無所属

苦楽園小・苦楽園中・関学高・関学大（法）卒  
阪急不動産（株）・阪急阪神不動産（株）勤務

## 西宮の政治を変える。その挑戦に、人生を賭けることにしました。

家族や友人が暮らす大切な街。自分を育ててくれた大好きな場所。  
私にとって西宮は、そんなかけがえのない存在です。

自然に恵まれ、利便性も高く、住みたい街として人気の西宮。  
しかし私は西宮で暮らす中、実際には多くの問題を抱えた街だと気づかされました。

保育所に子どもを預けたくても預けられない。空家がどんどん増えていく。  
そんな身近な課題が山積みなのに、「政治」が話題になるのは、政治家の不祥事ばかり。  
「政治」との距離は遠くなり、前回の市会議員選挙の投票率はわずか36.27%。  
私はこの現状に、強い危機感を抱いています。

今の西宮には、街の課題を解決するために、本気で活動する政治家が必要です。  
大好きな西宮が、これからも住みたい街であり続けるために。  
私は自らの人生を、その役割に捧げると決めました。

政治家の親族でも秘書でもない私が、無所属で政治家を目指すこと。  
無謀な挑戦と、笑われるかもしれません。

それでも。私だからこそ、できることがある。  
そう信じて、初めてのチラシを今こうしてお届けしています。

28才、無所属。この街を愛する若者の挑戦を、温かく見守っていただければ幸いです。

普通の若者が西宮市政を志した訳／たかのはどんな政治家を目指すのか ⇒【裏面へ】

■PROFILE／鷹野 伸（たかの しん）

【問い合わせ先】TEL/070-1524-7109 E-mail/mail@takanoshin.jp

1990年（平成2年）3月生まれ。西宮市立苦楽園小学校・西宮市立苦楽園中学校・関西学院高等部・関西学院大学法学部卒業。  
大学在学中、西宮を拠点に活動する吹奏楽団「甲東ヌーヴェルヴァーク・ウインドオーケストラ」を設立、初代代表を務める。  
2012年4月、阪急不動産株式会社（現：阪急阪神不動産株式会社）に入社。約6年間、新築分譲マンション部門にて勤務。  
2018年9月、西宮市政への挑戦を決め無所属にて政治活動を開始。樋之池町在住。行政書士試験合格者、宅地建物取引士。



# 28才、会社員。普通の若者が西宮市政を志した訳。

## ◇危機感を欠く、西宮の政治。

不動産会社で社会人経験を積んだ私は、住まいを探す多くの方々と接してきました。家を買うことは、住む街を決めること。その際、子育て世帯にとっての大きな基準は「保育所に入れるかどうか」です。いくら利便性が高くても、憧れの街であっても、保育所に子どもを預けられなければ共働きでの生活は成り立ちません。何年も待機児童問題が解消されない西宮は「選ばれない街」になりつつあると実感しました。

まちづくりの進め方も時代遅れです。他市では民間によるまちづくりが進められており、行政はそのコーディネート役を担うにすぎません。しかし西宮では、今でも市が商業ビルや娯楽施設を運営したり、駅前の広大な土地を数十億円で購入したり、直接的な関与を続けています。西宮の財政状況にそんな余裕は有りませんし、民間企業の方が開発・運営のノウハウを持っているのは明らかです。

行政が課題を放置していても利便性や環境の良さが評価され、西宮の人口は近年まで増加傾向にありました。そのため、早くから人口減少に直面してきた自治体に比べて、政治が危機感を欠いています。このままの状況が続けば、西宮が「住みたい街」でなくなる日はそう遠くありません。まずは、その危機感を抱く必要があります。

## ◇変化する時代、政策の方向転換が必要です！

今後の行政運営は、いま以上に厳しい時代を迎えます。公共施設やインフラの更新時期が一気に到来。高齢化により福祉需要が増加。人口減少に伴い市税収入が減少。支出が増え、収入が減るのは明らかで、財政状況は悪化の一途です。

高度経済成長期なら、新しい道路や施設を作ることが行政の役割かもしれません。しかし、いま求められるのは「限られた財源や人員をどう配分していくか」という視点です。例えば、公共施設をむやみに新設することは、建設費の借入金や維持費の負担を将来に残すため避けるべきです。市の業務は全て直営で行うのではなく、民間委託による効率化が必要です。こういった方向転換を推進し、厳しい時代へ備えなければなりません。時代の変化にいち早く対応する民間企業と違い、行政は変革が遅れがち。私は会社員としての経験と新しい世代の視点から、そんな風土を変えていきます。

## ◇そのためには若者の声と視点が欠かせません！

### ■西宮市議会議員の人数（年齢別）

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
議員数	0	3	8	9	17	3	40
割合	0.0%	7.5%	20.0%	22.5%	42.5%	7.5%	100.0%

※2018年8月現在、西宮市議会HPより

### ■年代別投票率

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
投票率	40.5%	33.9%	44.8%	53.5%	62.3%	72.0%	60.9%

※2017年衆議院選挙、総務省HPより

私たちの世代はこれからもこの街に暮らし、様々な場面で行政と向き合っていきます。将来を見据えた政策を実現するには若者の声を政治に届けることが欠かせませんが、今の市議会に20～30代の議員はわずか3名。若ければいいというわけではないものの、現状はあまりにもいびつな年齢構成です。その大きな要因は極端に低い若者世代の投票率。これでは同世代の政治家を議会に送り込むことも政治家に若者世代の存在を意識させることも難しいのが現実です。投票に足を運ばない限り変わらないこの状況。忙しい毎日、貴重な休日に選挙へ行くのは確かに億劫です。それでも「選挙、行ったほうがいいのかも？」と1人でも多くの方に思っていたきたい。そのために、私はこれからの活動で、西宮の抱える課題をお伝えしていきます。

## 政策

### たかのが考える、今の西宮に必要な政策とは。 ～詳細は次号以降の『TAKANO STYLE』にてお伝えします～

#### 行政・財政改革の推進

必要な政策に資金・人員を投入するため、一部職種の給与見直し、民間委託などの行政改革を進めるべきです！

#### 子育て・教育環境の充実

待機児童対策や教員・保育士の労働環境改善など、子ども達の将来につながる政策は最優先で推進すべきです！

#### 持続可能なまちづくり

公共施設の再配置や老朽化したインフラの更新などを計画的に進め、将来に負担を遺さないまちづくりへ転換すべきです！

#### 安心・安全な街の実現

生涯安心して暮らせる街を実現するため、高齢化社会への対応や防災など、命と暮らしを守る施策に注力すべきです！

## 約束

### たかのはどんな政治家を目指すのか。 ～初めてのチラシだからお伝えしたい、私の初心～

#### 1. 公正で合理的な政治家

利害関係やしがらみにとらわれることなく、本当にベストな答えを追求します！

#### 2. 政策を提案する政治家

無責任な批判や抽象論に終始せず、課題の解決策を具体的に研究・提案します！

#### 3. 自ら行動する政治家

机上の理論だけでなく実際に行動し、自身で感じた街の声を政策に反映します！

#### 4. 発信し続ける政治家

「選挙前だけ駅前にいる人」ではなく、日頃の情報発信で自らの考えを伝えます！



『TAKANO STYLE』をお読みいただいたご感想やご意見を、是非お寄せください！西宮市の政治や課題について、多くの方と直接お話ししたいと思っています。また、vol.2以降を郵送・メールでお受け取りいただける方や、お知り合いの方にチラシをお渡しいただける方がいらっしゃいましたら、ご連絡をお待ち申し上げます。【連絡先は表面をご参照ください】